

とがし博之

とがし博之
Official website



“友は財なり” 衆議院議員 富樫 博之

「友は財なり」……この言葉は私が一番大切にしている言葉です。

昭和30年、太平山の麓にある秋田市太平山谷に農家の次男として生まれ、地元山谷小学校(廃校)、太平中学校、秋田工業高校(定時制)、秋田経済大学(現ノースアジア大学)へ通いました。少年時代の記憶には、小学6年生で父親が突然くも膜下出血で亡くなり、母は寝たきりの祖母の介護をしながら田畑を耕し、夜は保険のセールスをして兄と私を育ててくれました。私は昼間に仕事を手伝うため、夜間の定時制高校へ通う決断をし、そこで人生の師となる熊谷弘先生と出会いました。

熊谷先生は秋田工業高校機械科の担任で4年間お世話になりました。当時30歳ぐらいだった先生は情熱的な人で、スポーツ大会では「勝利を目指せ!」と鼓舞し、優勝すると自分のことのように一緒に喜んでくれるような兄貴分的存在でありました。冬になれば生徒と一緒にスキーに行くほどの仲になり、そんな先生は日ごろから「**今いる友達は一生涯の財産だ。大切にしろよ**」というのが口癖だった。学問と農作業の両立は大変でありましたが、4年間一度も休むことはありませんでした。苦学生が多い定時制高校で40人弱いた仲間は一人も退学せずに卒業し、このことは熊谷先生の誇りであったはず。

今はコロナ禍でなかなかお会いする事は出来ませんが、平時であれば、毎年必ず熊谷先生を囲み同級生と酌み交わし、昔話に花を咲かせるのが一年の行事になっております。

39歳で県議に初当選したころ、同級生の一人から「だめだった時のためにお金をためてあるからな」と言われた一言を今も忘れません。熊谷先生の教えは当たり前のように簡単に行うことではない。

そんな恩師が贈ってくれた言葉「**友は財なり**」……

今も胸に刻み謙虚に誠実に日々を過ごしております。

下に衆議院本会議場の2枚の写真が掲載してあります。私が国政に送り出していたから3期9年目となりますが、このように本会議場で**自民党・公明党を代表して**質問に立つことが出来たのは、これまで支えてくれた皆さまのおかげであります。この先も継続してひとつひとつの積み重ねとご縁を大事にして秋田発展のために頑張ることをお約束します。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご利用・ご活用ください

秋田県LINE公式アカウント

秋田県新型コロナウイルス対策パーソナルサポート
新型コロナウイルスに関する情報をお知らせします。



秋田県版 新型コロナ安心システム

県内の施設やイベント会場等で感染が確認された場合、必要な情報をLINEメッセージでお知らせします。



暮らしと命を守る支援策

- 緊急小口資金、総合支援資金
- 職業訓練受講給付金
- 住居確保給付金
- 子育て世帯生活支援特別給付金
- 新型コロナウイルス感染症対応 休業支援金・給付金
- 高等職業訓練促進給付金
- 償還免除付ひとり親家庭住宅支援資金貸付



コロナワクチン情報



とがし博之
事務所

〒100-8982
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第二議員会館1019号室
TEL:03-3508-7275(直通)
FAX:03-3508-3725



第1事務所
秋田

(自由民主党秋田県第一選挙区支部)
〒010-1427 秋田市仁井田新田3-13-20
TEL.018-839-5601/FAX.018-839-7911
E-mail:hiroyuki@togachan.jp

※11月末までは第2事務所におります。

第2事務所
秋田

〒010-0912 秋田市保戸野通町5-31
(旧 北都銀行 通町支店)
TEL.018-838-6065 FAX.018-838-6066

郵便はがき

0108790

秋田市保戸野通町5-31

自由民主党
秋田県第一選挙区支部
とがし博之事務所 行

料金受取人払郵便
秋田中央局
承認

4421

差出有効期間
令和3年11月
30日まで

切手不要



あなたの声を私に聴かせてください!

該当する答えに□に✓してください。

1. あなたは次の総理総裁に誰を支持しますか?
- ☐ 岸田文雄 ☐ 河野太郎 ☐ 高市早苗
☐ 野田聖子 ☐ 石破 茂 ☐ その他 ()
- 具体的な理由

2. 下記の項目であなたは何について興味・関心がありますか?

- ☐ 新型コロナウイルス感染症対策 ☐ 医療・介護福祉
☐ 子育て・教育支援 ☐ 景気・雇用対策
☐ 年金問題・税制度(消費税など) ☐ エネルギー政策・自然環境保全
☐ 外交・安全保障(防衛) ☐ 防災・減災
☐ 社会資本整備(インフラ) ☐ 地域振興・地方創生
☐ 人口減少社会 ☐ IT(情報技術)・AI(人工知能)など
☐ 格差社会 ☐ その他 ☐ 特に興味のある分野はない

このはがきは切手を貼らずに投函するか、ファクスで送信して下さい。

FAX:018-839-7911

政治とは、地域の声を聞き、そして国に届け、大きなカタチへと結びつけること。

バイパス開通による歩行者の安全と円滑な交通の確保

幅員が狭い上に交通量が多く、朝夕のラッシュ時の大混雑、夏シーズンには海水浴客が訪れ渋滞や事故も多発していました。

また地元小・中学生の通学路に指定されていることもあり、近年の通学路での巻き込み事故を考えると安全性確保が急務でありました。早期解決に向けた動きとして、国土交通省へ足を運び、整備に必要な予算確保のため何度もお願いしてきた経緯があり、令和2年3月に開通を迎えた際には地元住民の皆さまとともに喜びあうことができました。

現在は臨海十字路から先の秋田南バイパス2車線区間を4車線化する計画もあり、輸送効率化による地域産業のさらなる振興を支援してまいります。

地域の皆さまの声



《30代女性》

前は道路の幅が狭くて、子供達の通学路だっただけに心配でしかたがありませんでした。今は安全に登校できるようになって安心しています。



《60代男性》

大型車両の交通量も減り道路の騒音もなくなって普段過ごしやすくなりました。



《50代女性》

下浜道路開通後、国道7号(現道)の交通量が8割減って人身事故が発生していません。うれしい限りです！



Topics

通学路の安全確保、危険から子どもを守る。

政府は8月4日、千葉県八街市で下校中の小学生5人が飲酒運転の大型トラックにはねられ死傷した事故を受け、緊急対策を取りまとめました。通学路の安全確保と飲酒運転根絶に向けた取り組みを対策の柱とし、9月までに全国の通学路を点検するよう指示しました。通学路の安全対策について速度規制や登下校時間に限った車両通行止めなどのソフト面と、ガードレールなどの整備によるハード面を組み合わせた対策を10月末までに作成し、速やかに実施するとしてしました。また、飲酒運転の根絶へ全事業所に安全運転管理者を置くよう徹底するとして。

今後、県内の通学路を早急に調査し、適切な措置を迅速に進めるとともに飲酒運転の根絶へ向け取り組みを強化してまいります。



持続可能な社会の実現へ

秋田で働く女性を応援します!! ●女性が活躍する社会の実現



様々な状況に置かれた女性が、自らの希望を実現して輝くことにより、「女性の力」を最大限に発揮できる環境を整備します。結婚、妊娠、出産、子育てなど、切れ目のない支援体制づくりに努めます。

特に新型コロナウイルスの拡大により、女性の雇用や生活に深刻な影響を及ぼしており、これからも迅速な対策を講じてまいります。

●安全で安心な医療・社会福祉の充実

新型コロナウイルス対策で機能した行政と医療関係団体が連携して取り組む「地域医療」の体制を構築してまいります。

また、高齢者や障がい者福祉を充実させ、安心して暮らせる社会づくりに努めます。



秋田の未来を担う子供たちのために!

教育格差をなくし、輝く子どもたちの未来を考えています。

新型コロナウイルス感染症の対策として日本の教育現場では授業のオンライン化が急速に進み、政府が掲げる^{*}GIGAスクール構想が前倒しとなって始まっています。子ども達が自ら進んで意欲的に学習できる環境を整え、意欲を喚起する授業をすることで一人ひとりに合ったきめ細やかな指導を展開します。



^{*}GIGAスクール＝小中学生1人に端末1台と高速大容量の通信ネットワークとクラウド等を整備(活用)した教育

- 他の子供たちとの学習が困難
- ASD、LDなどの発達障害
- 日本語指導が必要
- 特異な才能を持つなど

分かる喜びや学ぶ楽しさを実感し、誰一人取り残すことのない創造性を育む教育の実現をめざしていきます。

今できる最善の支援を迅速に!

— 生活困窮者自立支援制度 —

コロナ禍で失業し、働きたくても働けない生活が苦しい人たちに、公的な支援が届いていない可能性もあり、困窮や孤立が深刻化するという指摘が出ています。まずは地域の相談窓口にご相談ください。



自立相談支援事業

あなただけの支援プランを作ります。

住居確保給付金の支給

家賃相当額を支給します。

就労準備支援事業

社会、就労への第一歩。

就労訓練事業

柔軟な働き方による就労の場の提供。

一時生活支援事業

住居のない方に衣食住を提供します。



家計改善支援事業

家計の立て直しをアドバイス。

生活困窮世帯の子ども

学習・生活支援事業

子どもの明るい未来をサポート。

詳しくはこちらから

※一定の資産収入に関する要件を満たしている方が対象です。



とがし博之 プロフィール

昭和30年4月27日 秋田市太平に生まれる
昭和50年3月 秋田県立秋田工業高等学校卒業
昭和54年3月 秋田経済大学経済学部卒業
昭和54年4月 参議院議員(後に衆議院議員) 野呂田芳成先生秘書
平成7年4月 秋田県議会議員初当選(以来5期連続当選)
平成21年8月 第62代秋田県議会議長
平成24年8月 自由民主党秋田県第一選挙区支部長
平成24年2月 第46回衆議院議員総選挙 初当選
平成26年2月 第47回衆議院議員総選挙 当選(2期目)
平成28年8月 総務大臣政務官(第3次安倍第2次改造内閣)
平成29年0月 第48回衆議院議員総選挙 当選(3期目)

役職 令和3年4月1日現在

自由民主党秋田県第一選挙区支部 支部長

衆議院 総務委員会【理事】
経済産業委員会【委員】
東日本大震災復興特別委員会【理事】
政治倫理の確立及び
公職選挙法改正に関する特別委員会【委員】

自民党 副幹事長
運輸・交通団体委員会【副委員長】
政務調査会 地方行政調査会【幹事】
調査会 過疎対策特別委員会【事務局次長】

きりとり

●ご意見

あなたの声を私に聴かせてください!

きりとり

よろしければご記入ください
※該当する性別、年齢層に○をつけてください。

性別 男 ・ 女

年齢層 10歳代 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳代 70歳代 80歳以上

☎ 018-839-5601 ✉ 018-839-7911 ✉ hiroyuki@togachan.jp